

農業における 男女共同参画の推進について

令和4年2月

農林水産省

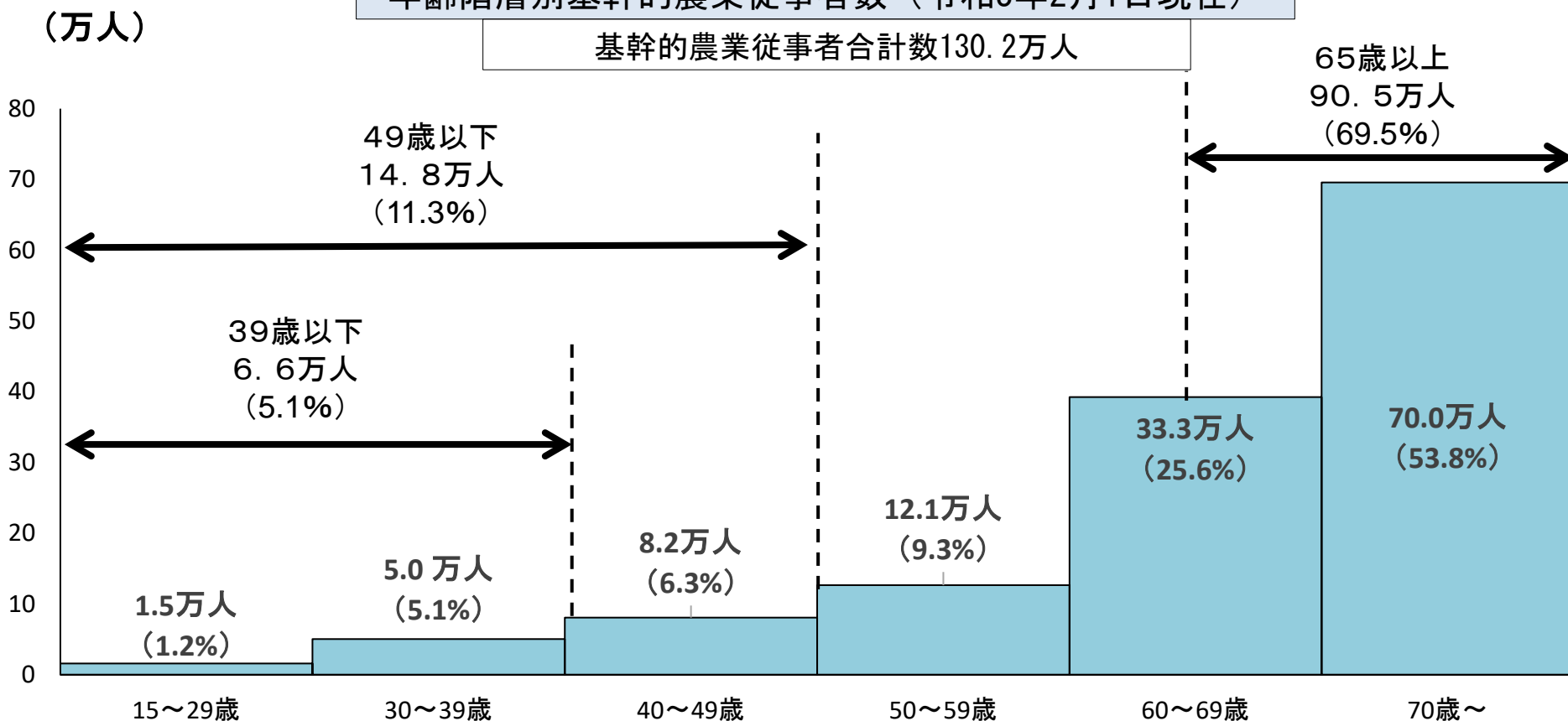
女性農業者の現状と支援策

我が国の農業従事者の年齢構成

- 我が国の基幹的農業従事者は、65歳以上が70%、40代以下が11%。
- 持続可能な力強い農業のためには、世代間バランスの取れた農業構造が重要。

年齢階層別基幹的農業従事者数（令和3年2月1日現在）

基幹的農業従事者合計数130.2万人



資料：農林水産省「令和3年農業構造動態調査結果」

(基幹的農業従事者:15歳以上の世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者)

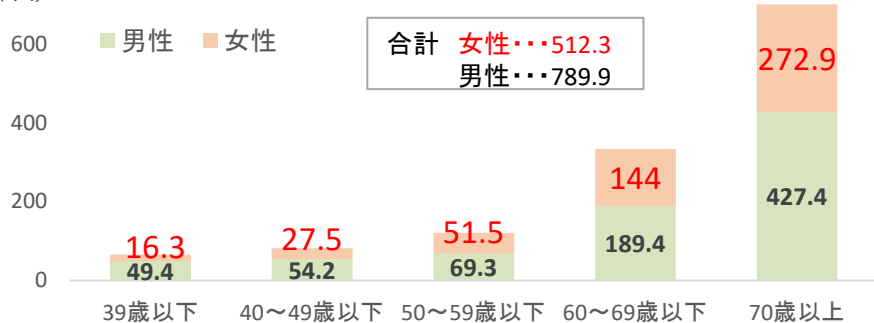
女性農業者の状況

- 女性は基幹的農業従事者の約4割を占める重要な担い手。
- 今後の農業の発展、地域経済の活性化のためには、生活者の視点や多彩な能力を持つ女性農業者が力を発揮していけるようにすることが必要。

基幹的農業従事者数に占める女性割合(令和3年)

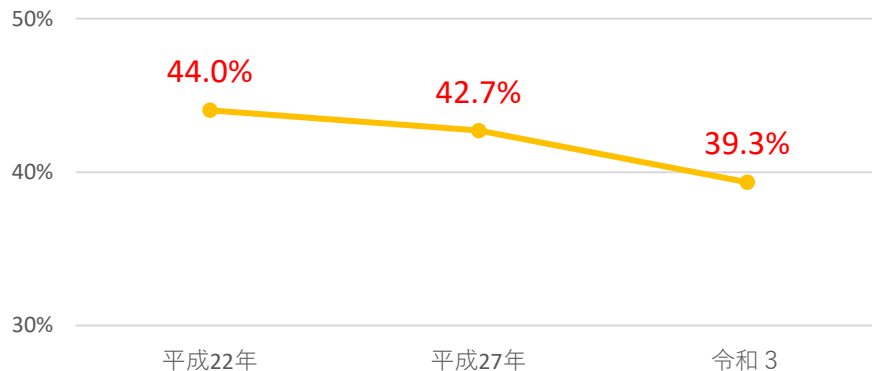
	39歳以下	40～49歳以下	50～59歳以下	60～69歳以下	70歳以上	合計
女性割合	24.8%	33.6%	42.6%	43.6%	39.0%	39.3%

(千人)



資料:農林水産省「令和3年農業構造動態調査」
基幹的農業従事者とは15歳以上の世帯員のうち、ふだん仕事を主として主に自営農業に従事している者

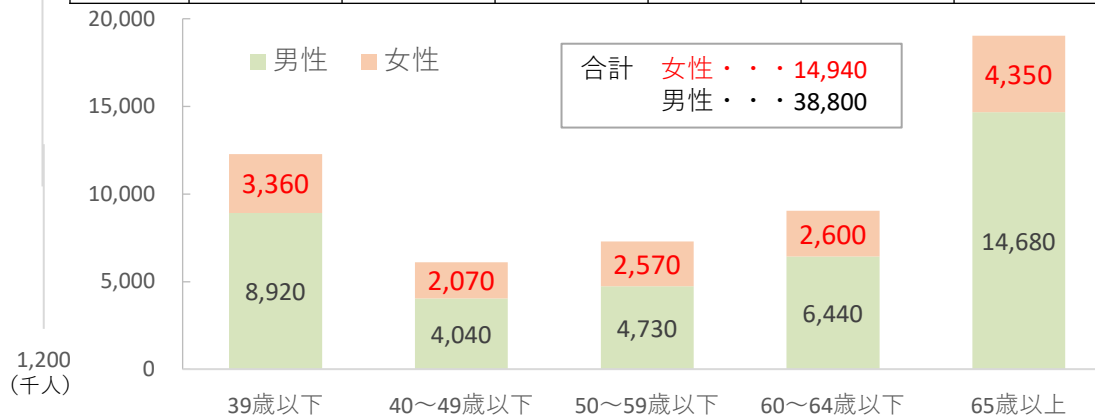
基幹的農業従事者に占める女性の割合の推移



資料:農林水産省「令和3年農業構造動態調査」、「2015 農林業センサス」(組替集計)、
「2010年世界農林業センサス」(組替集計)

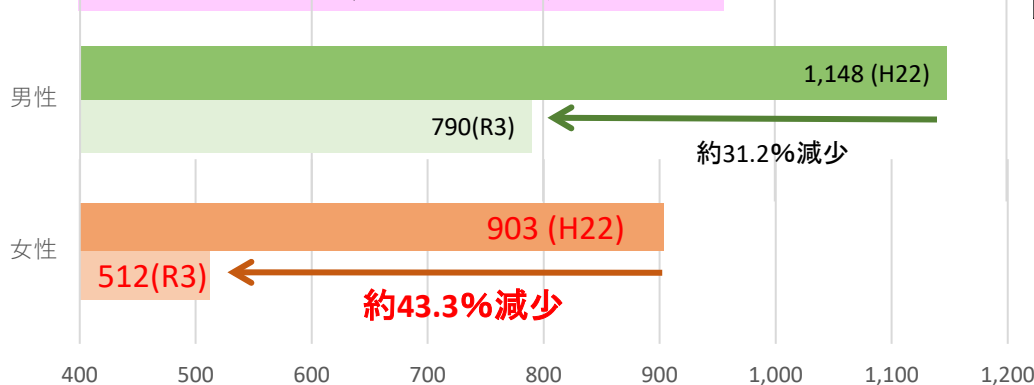
新規就農者数に占める女性の割合(令和3年)

	39歳以下	40～49歳以下	50～59歳以下	60～64歳以下	65歳以上	合計
女性割合	27.4%	33.9%	35.2%	28.8%	22.9%	27.8%



資料:農林水産省「令和2年新規就農者調査」

女性の基幹的農業従事者数の推移

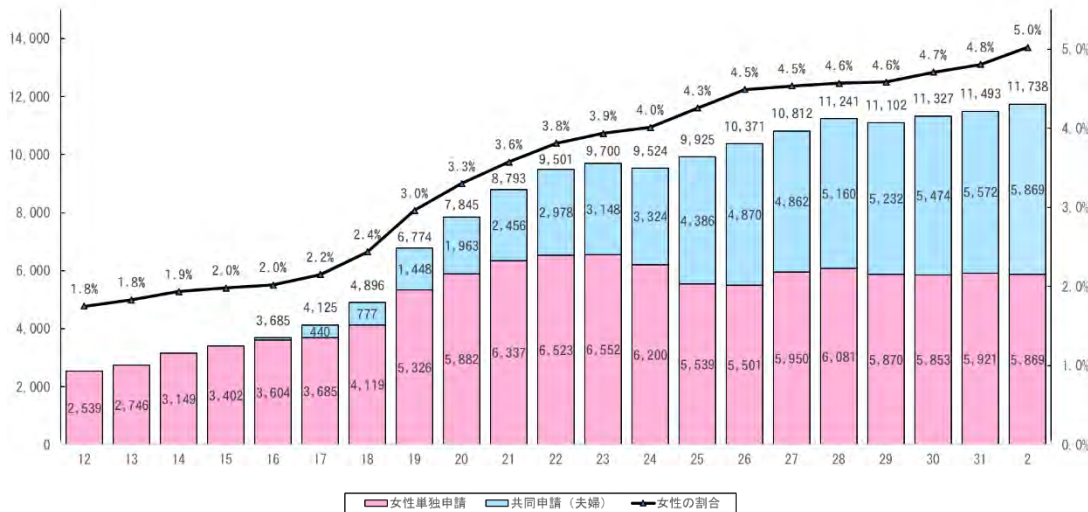


資料:農林水産省「令和3年農業構造動態調査」、「2010年世界農林業センサス」(組替集計)

女性の経営参画と経営状況の関係

- 女性が認定農業者になることによって、経営における女性の位置づけが明確化。認定農業者数は共同申請の制度ができた平成15年から約3倍に増加。
- 農業経営体のうち個人経営体の約36%で女性が経営方針の決定に関わっている。女性が経営に参与していると、経常利益の増加率が高く、売上規模が大きい経営体ほど、女性が経営に参与する傾向。

女性の認定農業者数の推移



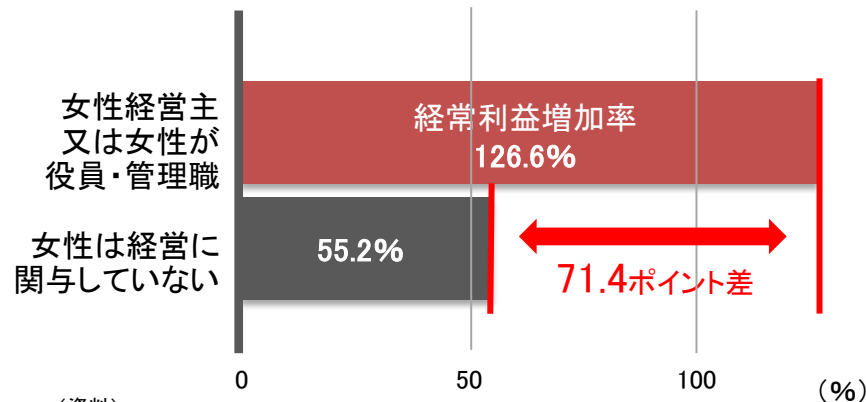
資料：農林水産省「農業経営改善計画の営農類型別等の認定状況」

経営方針の決定への関わり(農業経営体のうち個人経営体)

経営主が女性の農業経営体①	経営主が男性だが、女性が経営方針決定に参画している農業経営体		経営主が男性で、経営主のみが経営方針を決定している農業経営体	女性が経営方針の決定に関わっている農業経営体(=①+②+③)
	男女の経営方針決定参画者がいる②	女の経営方針決定参画者がいる③		
5.9%	7.1%	22.9%	60.5%	35.9%

資料：農林水産省「2020年農林業センサス」

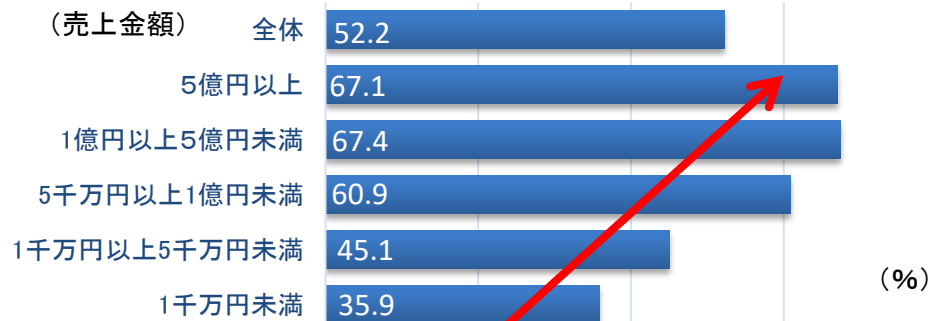
女性の経営への関与別経常利益増加率(直近3年間)



(資料)

- 株式会社日本政策金融公庫「平成28年上半年農業景況調査」(平成28年9月)による。
- 調査対象は、日本政策金融公庫のスーパーL資金又は農業改良資金の融資先。

売上規模別女性の農業経営への関与割合



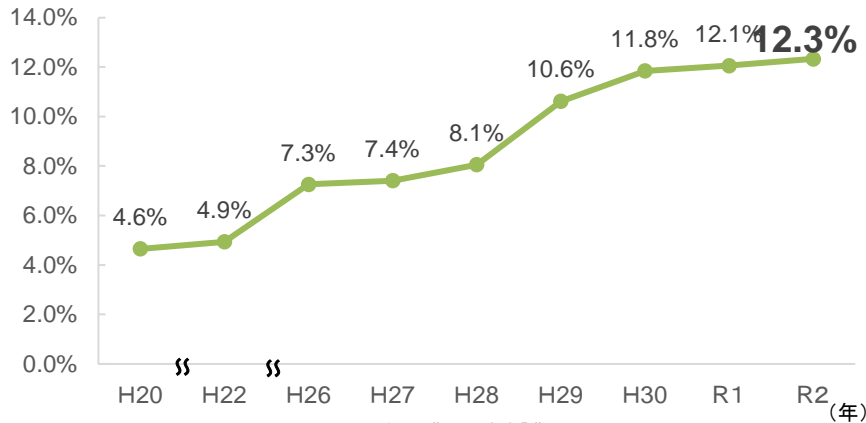
(資料)

- 「令和元年7月農業景況調査(特別設問:労働力の状況等の動向)」(日本政策金融公庫 農林水産事業本部)
- 調査対象は、日本政策金融公庫のスーパーL資金又は農業改良資金の融資先

農業委員など政策・方針決定過程への女性の参画の促進

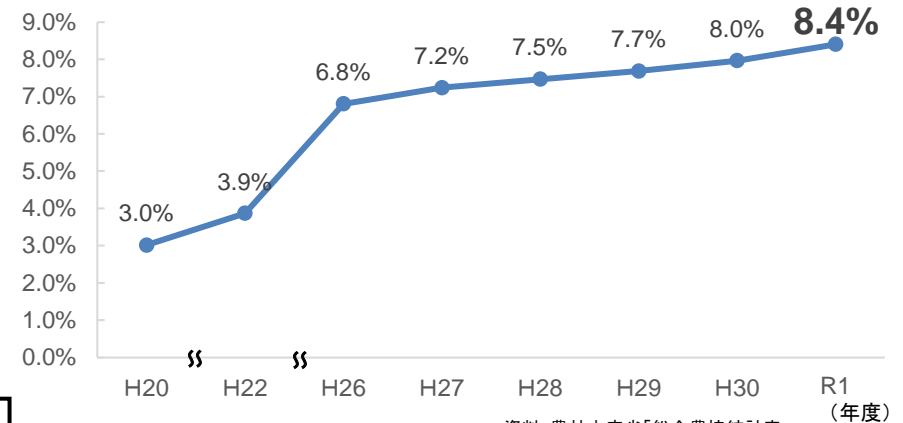
- 第5次男女共同参画基本計画（令和2年12月閣議決定）においては、農業委員に占める女性の割合、農業協同組合の役員に占める女性の割合の目標に加えて、新たに、土地改良区（土地改良区連合を含む。）の理事に占める女性の割合の目標を設定。

○農業委員に占める女性の割合



資料：農林水産省「農業委員への女性の参画状況」
注：各年とも10月1日現在

○農業協同組合の役員に占める女性の割合



資料：農林水産省「総合農協統計表」
注：各事業年度末時点

第5次男女共同参画基本計画（令和2年12月閣議決定）における成果目標

○農業委員に占める女性の割合
早期に**20%**、2025年度までに**30%**

※ 土地改良区（土地改良区連合を含む。）の理事に占める女性の割合について、2025年度までに**10%**とする目標を設定（2016年度は0.6%）

○農業協同組合の役員に占める女性の割合
早期に**10%**、2025年度までに**15%**

女性活躍・男女共同参画の重点方針2021（令和3年6月16日決定）

○市町村や農協に対して、女性の農業委員や農協役員の登用割合の目標や女性登用のための具体的取組を定めるよう促す。

○これらの策定状況、登用実績については、毎年調査し、公表。

第5次男女共同参画基本計画(R2年12月閣議決定)における成果目標

項目		成果目標 (令和7年度)	現状 (最新値)
農業委員に占める女性の割合	女性委員が登用 されていない組織	0	254/1,702 (令和2年)
	農業委員に占める 女性の割合	20%(早期)、 更に30%を目指す	12.3% (令和2年)
農業協同組合の役員に占める 女性の割合	女性役員が登用 されていない組織数	0	101/611 (令和元年)
	役員に占める 女性の割合	10%(早期)、 更に15%を目指す	8.4% (令和元年)
土地改良区 (土地改良区連合を含む。)の理事に 占める女性の割合	女性理事が登用 されていない組織数	0	3,737/3,900 (平成29年)
	理事に占める 女性の割合	10%	0.6% (平成29年)
認定農業者数に占める女性の割合		5.5%	5.0% (令和2年)
家族経営協定の締結数		70,000件	59,162件 (令和3年)

資料：内閣府「第5次男女共同参画基本計画（令和2年12月閣議決定）における成果目標」を基に農林水産省作成

注1 農業委員 「農業委員への女性の参画状況」10月1日時点

注2 農協役員 「総合農協統計表」各事業年度末時点

注3 土地改良区 H29土地改良区運営実態等統計調査 3月末時点

注4 認定農業者 農林水産省経営局経営政策課調べ「農業経営改善計画の営農類型別認定状況」 3月末時点

注5 家族経営協定 家族経営協定に関する実態調査 3月末時点

家族経営協定の推進

○家族経営協定とは、近代的な家族農業経営の実現を目指し、経営の方針や家族一人ひとりの役割、就業条件・就業環境などについて家族みんなで話し合いながら、第三者の立ち会いの下、取り決めるもの。

○第5次男女共同参画基本計画において、家族経営協定の締結数70,000件(2025年度)を成果目標(再掲)

協定締結農家数の割合

家族経営協定 締結農家数	5.9万 (R3.3時点)
主業経営体数	22.2万戸
主業経営体に占める締結農家の割合	26.6%

資料:農林水産省「令和3年農業構造動態調査」、「家族経営協定に関する実態調査」
注:主業経営体とは、農業所得が主(世帯所得の50%以上が農業所得)で、調査期日前1年間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいる個人経営体。

取り決めている協定の内容

取決め内容	割合
農業経営の方針決定	96.1%
労働時間・休日	94.3%
農業面の役割分担(作業分担、簿記記帳等)	80.5%
労働報酬(日給・月給)	72.5%
収益の配分(日給・月給以外の利益の分配)	67.0%
経営移譲(継承を含む)	59.6%

資料:農林水産省調べ(令和3年3月31日現在)
注:複数回答。

制度上のメリット

○農業次世代人材投資事業(経営開始型)

夫婦ともに就農する場合(家族経営協定、経営資源の共有などにより共同経営者であることが明確である場合)は、夫婦合わせて1.5人分を給付する。

○認定農業者制度

実質的に共同経営を行っている場合、収益の配分と経営方針決定への参画が明確にされている家族経営協定が結ばれていること等を要件に、夫婦等による認定農業者の共同申請が認められる。

○農業者年金

青色申請をしている認定農業者等と家族経営協定を締結して、経営に参画している配偶者、後継者に対しては、基本となる保険料(20,000円)のうち一定割合の国庫助成が行われる。

家族経営協定の締結事例

Lindo-tomaco, Farm (リントマコファーム)

(千葉県銚子市)

石毛善一さん（経営主）, 芳江さん（経営主の妻）
佳知さん（後継者の夫）, 麻里子さん（後継者）

○締結のきっかけ

- ・女性グループで家族経営協定について学習したことを機に、平成26年に協定を締結。
- ・後継者の長年の夢である「農家レストラン」を実現するために、令和3年に協定の内容を見直して再締結し、後継者も認定農業者の共同申請。

○締結の効果

- ・役割分担や就業条件の明確化により、研修会等にも気兼ねなく参加でき、個々がスキルアップ。
- ・働くためのエネルギー再生産の時間を重視し、個々がゴルフや旅行等でリフレッシュするなど、メリハリのある生活が実現可能に。



農家レストランを年内に開設予定

60 女性が変わる未来の農業推進事業

【令和4年度予算概算決定額 85（85）百万円】
 （令和3年度補正予算額 200百万円）

<対策のポイント>

女性農業者の能力の発揮等による**農業の発展、地域経済の活性化**のため、**地域のリーダー**となり得る**女性農業経営者の育成**、**女性グループの活動**、**女性が働きやすい環境づくり**、**女性農業者の活躍事例の普及**等の取組を支援します。

<事業目標>

- 農業委員に占める女性の割合向上 (30% [令和7年度まで])
- 農業協同組合役員に占める女性の割合向上 (15% [令和7年度まで])
- 土地改良区理事に占める女性の割合向上 (10% [令和7年度まで])
- 女性の認定農業者の割合向上 (5.5% [令和7年度まで])
- 家族経営協定の締結数増加 (70,000件 [令和7年度まで])

<事業の内容>

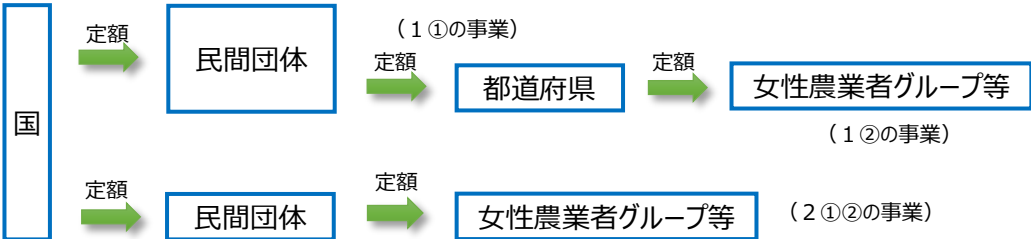
1. 女性が変わる未来の農業推進事業

- ① **女性活躍に向けた全国事業**
 全国共通の研修コンテンツの作成や地域をリードする女性農業者の活躍事例の普及等の取組を支援します。
- ② **地域における女性活躍推進事業**
 各都道府県において、地域の女性活躍の実情に応じ、女性農業者の育児と農作業のサポート活動等**女性が働きやすい環境の整備**、地域を牽引する女性リーダーの育成等**社会参画の推進**に向けた取組を支援します。

2. (令和3年度補正予算) 女性の就農環境改善緊急対策事業

- ① **女性が働きやすい環境の整備**
 女性が働きやすい環境の整備に向けた**簡易な改修やリース等による、男女別トイレ、更衣室、託児スペース等の確保**を支援します。
- ② **地域の女性農業者グループの活動等支援**
 女性農業者の居場所となる**女性グループの立ち上げ、グループ活動の開始又は発展**、**女性を農業へ呼び込むための活動事例の発信**等の取組を支援します。

<事業の流れ>



<事業イメージ>

女性活躍に向けた Stage	農業・農村への呼び込み	農業・農村への定着	経営参画 経営発展	地域の方針策定への参画	
全国事業	研修コンテンツの作成				
	地区事業で活用できる 研修コンテンツ（女性リーダー育成、女性活躍の意義等） の作成				
令和4年度予算	女性活躍の理解促進				
	地域をリードする 女性農業者の活躍事例の普及 等				
令和3年度補正	環境整備	女性が働きやすい環境の整備			
		女性農業者の 育児と農作業のサポート活動 、 家族経営協定の締結 に向けた 相談会の開催 等を支援			
	社会参画の推進	女性活躍の理解促進			
		女性活躍の 意義、女性活躍の事例 等について 研修会 等を通じ周知		リーダー育成	
環境整備	地域の 女性農業者グループ の活動推進			地域の 実情 に応じた 女性リーダー育成研修 の実施	
	女性 グループの事業活動 や 研修会 の開催等を支援				
グループ活動等支援	男女別トイレ、更衣室、休憩室、託児スペース、高さが調整できる作業台、アシストスーツ等の確保を支援				
	・ グループ活動の発展 に向けた 先進事例調査 ・ 新商品開発 のための 試作品づくり 等を支援				
				都会に住む女性を対象とした 女性農業者の活躍事例の発信 等	

※ 地区事業については、実施する都道府県において**農業分野の女性登用の目標及び目標達成に向けた実行計画**を定めていること等を要件化
 【お問い合わせ先】 経営局就農・女性課 (03-3502-6600)⁹

女性農業者に対する支援事例

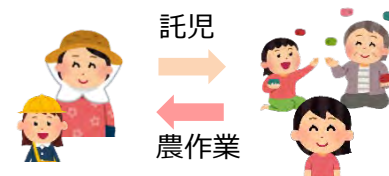
女性の活躍推進対策

女性農業者の居場所づくり、女性の農業・農村への定着につながるよう、

- ・地域の女性グループ活動
- ・女性が働きやすい環境の整備 を支援

女性農業者の託児と農作業のサポート

女性農業者の託児と農作業を地域で一体的にサポートする地域ネットワークの構築



女性農業者グループの活動支援

グループの立ち上げ、グループ活動の開始、発展に向けた取組を支援



新商品開発のための試作品づくり

（研修会の開催、先進事例調査、試作品づくり等）

女性が働きやすい環境整備

- ・男女別トイレ
- ・休憩室
- ・更衣室
- ・託児スペース等の確保を支援



男女別トイレ



休憩室

（一社）奈義しごとえん（岡山県）

町内の「ちょっと手伝って」と「ちょっと働きたい」をマッチングしてきたノウハウを活かし、子育てママや高齢者等による女性農業者の農作業サポートや、なぎチャイルドホームでの一時預かりや自主保育による女性農業者等の子育て支援を実施。



働き方改革～女性の活躍推進

- ・女性農業者が働きやすい環境整備や女性農業者の活躍支援策等に関する情報を一元的に提供するポータルサイトを開設。
- ・女性の就農希望者を受け入れるためのマニュアルを作成。農業経営者が女性と働いていく際に知っておきたい「マッチング」「日々の業務」「知識の点検」の3つの切り口で編集。

ポータルサイト

Step WAP～農業の働き方改革～

(公社)日本農業法人協会



女性活躍のヒントとなる情報が掲載されています！

労働条件を整えたい

- ・女性の募集・採用時のポイント
- ・妊娠から職場復帰後において法令で定める両立支援措置 等

コミュニケーション能力を向上したい

- ・ビジネスマナーを意識する
- ・意見対立を恐れない～アサーティブコミュニケーション～ 等

従業員の成長を促したい

- ・経営資源としての女性人材の重要性
- ・人事評価制度の導入・人材教育のしくみと風土づくり 等

etc...

<https://step-wap.jp/>

Step WAP

WEB検索



これからの農業経営のためのハンドブック -女性とはたらく-

(株)マイファーム



これからの
農業経営のための
ハンドブック

・女性とはたらく・



農業経営者が女性と働く際に知っておきたいポイントが掲載されています！

女性活躍事例紹介

- ・女性が働く現場の事例を紹介

マッチング

- ・イメージと現実のギャップを埋める
- ・採用は経営を見つめる大きなチャンス

日々の業務

- ・女性が働きやすい環境整備とは？
- ・どんな作業上の工夫をしたらいい？
- ・女性が働きやすい仕組み
- ・円滑なコミュニケーションのために

知識の点検

- ・ダメ！セクハラ、パワハラ、ジェンダー差別

etc...

無料でダウンロードできます！

<https://myfarm.co.jp/women/pickup/detail/?p=2249>



「農業女子プロジェクト」について ～概要～

趣旨

「農業女子プロジェクト」（2013年設立）は、農業内外の多様な企業・教育機関等と連携して、農業女子の知恵を生かした新たな商品・サービスの開発、未来の農業女子をはぐくむ活動、情報発信等を行い、社会全体での女性農業者の存在感を高め、女性農業者自らの意識の改革、経営力発展を促し、職業としての農業を選択する若手女性の増加を図ります。農業女子同士のネットワークづくりにも取り組んでいます。

参加メンバーデータ



農業女子メンバー
全国 **886**名



参画企業
37社



教育機関
8校

(2021年12月時点)

具体的な取組

企業プロジェクト

企業と農業女子メンバーが協同で新たな商品やサービスの開発等を行い、女性農業者の活躍や魅力を発信（それぞれの企業活動の一環として推進）

チーム“はぐくみ”

高校・大学等の教育機関と活躍する魅力ある農業女子メンバーが連携し、農業を志す学生の発掘や動機づけ、意識の向上のための取組を実施

SDGs活動の発信

“農業者のわたしたちができる5つのこと”として農業女子メンバーのSDGs活動を発信

農業女子ラボ活動

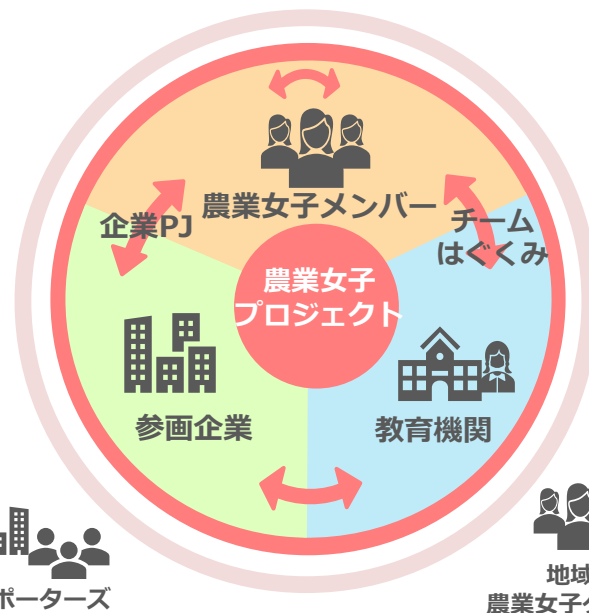
メンバー自らの関心の高いテーマについて自主的に勉強会等を実施

プロジェクトの目的

社会、農業界での
女性農業者の
存在感を高める

女性農業者自らの
意識の改革、
経営力の発展

若い女性の職業の
選択肢に
「農業」を加える



第9期 農業女子プロジェクトの活動方針

(2021年11月～2022年10月)

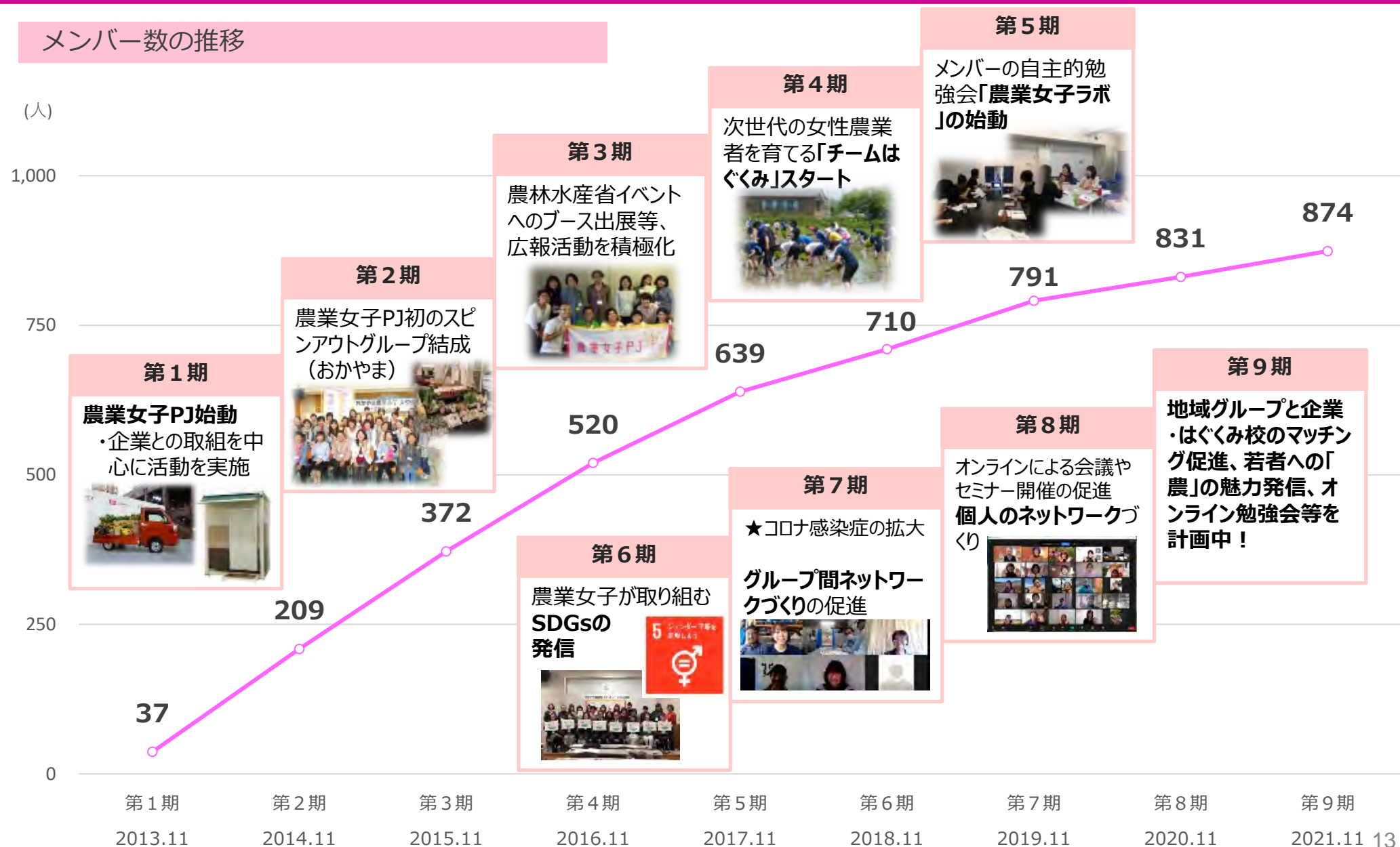
1. 地域グループ活動の推進
2. 「農」の魅力を発信
3. オンラインのフル活用

SNSやイベント等を活用した
女性農業者の魅力発信



「農業女子プロジェクト」のあゆみ

メンバー数の推移



農業女子プロジェクト参画企業



参画企業

期	井関農機	ダイハツ工業	モンベル	タニタ
第1期 (2013.11~)	「夢ある'農業女子'応援Project」	農業女子マルシェ×ハイゼットトラック全国展開	フィールドウェア開発プロジェクト	ご当地タニタごはんコンテストとともに農業女子と健康まちおこし！
	三越伊勢丹 農業女子一人一人の想いを'形にする・伝える・届ける'プロジェクト	サカタのタネ ハッピーベジタブルで「新野菜」の需要創造！プロジェクト	丸山製作所 ドローンで省力化！農業女子応援プロジェクト	
第2期 (2014.11~)	SHARP 夏の作業もTEKION(テキオン)でクールに決めよう！	東邦 汚れも悩みもスッキリ！農業をもっと楽しく！プロジェクト	東洋ハウジング 農業女子と考える住まいと地域のミライ・プロジェクト	東和コーポレーション プロジェクトA
	城北信用金庫 「作る」から「創る」へ！ビジネス&ライフ応援	フマキラー 「素敵・未来・ガーデン」プロジェクト		バンダイナムコエンターテインメント 『農業×エンタメ』創出プロジェクト
第3期 (2015.11~)	豊島 農業女子的ファッション改革PJ	コンビ/コンビウイズ 「おいしい！」を未来までつなげようプロジェクト	大日本印刷 農業女子の未来のあたりまえをつくるPJ	近正 農作業を快適に！農業女子サポートPJ
第4期 (2016.11~)	日本農薬 明日の農業女子を考える日農PJ	楽天 「農業女子PJ×ラクマファーマーズマーケット」認知拡大PJ	象印マホービン 農業女子 In ライフスマイルプロジェクト	アイアグリ 農家のみなさんに届け！
第5期 (2017.11~)	温泉道場 農女プロデューサー 替わり風呂PJ	桃谷順天館 美味しく食べて、腸からキレイに！Bistro M's PJ	精工 女子力でブランド力と経営力を向上！	カネコ総業 プロ向け・家庭菜園向けの使いやすい便利用品の開発
第6期 (2018.11~)	全国農協観光協会 農業女子つ・な・ぐプロジェクト	日本品質保証機構 農業女子プロジェクト G A P 講座	ハッズ くだもの&野菜をギフトに！新しいマーケットは女子力で	Kewpie あいちみんなのサラダ
第7期 (2019.11~)	ミズノ モノ・コト農業改善プロジェクト	味の素ヘルシーサプライ 「アミノ酸から植物の元気を広げよう！」プロジェクト	NTTレゾナント #マルシェ農業女子オンライン販売応援プロジェクト	カクイチ カクイチ A-SITE を活用した農業女子活動促進
第8期 (2020.11~)			CROSS PLUS 女子のほしいを実現！「農業女子毎日服」開発・販売プロジェクト	マイファーム 農業女子大プロジェクト~農業の世界にもっと女性の力を~



これまでの企業プロジェクトの主な成果

カネコ総業

女性も使いやすい農具を開発

◆【Lacuno】シリーズ [2021.1]

・手になじみ、作業しやすく疲れにくい
らくらくグリップシリーズ「Lacuno」
(ショベル・キッズ鎌・鍬)の開発



◆【Lacuno】シリーズ (鎌・鍬・レーキ) [2018.11]



モンベル

農作業も快適な作業着を開発

◆フィールド クールパーカ Women's [2021.1]

農業女子の意見を取り入れて、素材や
シルエットにこだわり、暑い季節の農
作業を快適にする速乾性・通気性に優
れたパーカを開発



◆フィールドもんぺ [2019.3]



◆フィールド レイン ジャケット Women's・ フィールド レイン パンツ Women's [2018.9]

◆クリマプロ フィールドストレッチ カバーオール women's [2016.9]

井関農機

女性も使いやすい農業機械を開発

◆農業女子草刈機『プチもあ』 [2017.12]

・動画で使用方法等を確認できるQRコードを添付
・サイドクラッチレバーやグリップを
操作しやすく改良



◆耕耘機『ちょこプチ』 [2016.12] ◆トラクタ『しろプチ』 [2015.6]

楽天

ネット販売で農業女子をPR

◆「ラクマ」にて農業女子の野菜・ 加工品販売 [2017.11~]

・農業女子の魅力が詰まった特設サイトも開設
・ECで顔の見える販売を実現



農業女子PJ × Rakuten ラクマ

バンダイナムコアミューズメント

農業女子とのコラボイベントを実施

◆「831やさいフェスタ」農業女子 が野菜の魅力を発信 [2019.8]

・8月31日「やさいの日」に、(株)バンダイ
ナムコアミューズメントの未就学児向け施
設「あそびパークPLUS」にて農業女子による
食育イベントを実施



農業女子PJ



これまでの企業プロジェクトの主な成果



丸山製作所

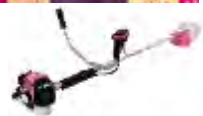
女性も使いやすい農業機械を開発

◆噴霧機『きりり』 [2017.11]

- ・背当てや背負いバンドを背負いやすく改良
- ・希釈倍率表を添付し薬剤の混合量がすぐわかる



◆草刈機『かる～の』 [2015.7]



東和コーポレーション

女性の知恵を生かした手袋を開発

◆多機能手袋『農業女子Gloves』 [2017.6]

- ・スマートフォン対応、UVカット機能付きなど、メンバーの意見を活かして開発
- ・商品名に初めて「農業女子」のネーミングを採用



◆インナー手袋『ロツティ』 [2015.12]



コンビウイズ

農業女子と農業イベントを開催

◆子ども向け農作業体験 [2017.5～]

- ・保育園児対象に農業女子メンバーの圃場での農作業体験、栄養士・給食スタッフ対象に料理教室を実施



東洋ハウジング

農業女子の視点を取り入れたモデルハウス

◆モデルハウス『na go mi no N-jyo』オープン [2016.5]

- ・土間を採用、農業と生活が両立しやすい間取り
- ・農業女子らしく自然の素材をとりこんだぬくもりの家



三越伊勢丹

農業女子コラボ商品の販売

◆お中元・お歳暮ギフトでコラボ商品を販売 [2014.10～]

- ・お中元・お歳暮ギフトで農業女子の農産物を使用した商品を販売。伊勢丹新宿店でマルシェも実施。



ダイハツ工業


女性目線の軽トラック開発

◆女性目線の軽トラックの開発 [2014.9]

- ・カラフルな全8色のボディカラー
- ・UVカットガラス採用。フロアの高さを下げるなど乗降しやすく。



教育機関と未来の農業女子をはぐくむ活動を展開



チーム“はぐくみ”

第3期
(2015.11～)

東京農業大学

新たなワークスタイルを提案するkawaii農業女子育成PJ

蒲田女子高等学校

農業からはばたけ！
チャレンジ&応援PJ

第4期
(2016.11～)

産業能率大学

大学生(女子大生)による農業女子PJのインスタグラムによる情報発信

第5期
(2017.11～)

近畿大学

近大流
農業女子育成PJ

東京家政大学

SDGs野菜まるっと
使い切りレシピ

桜美林大学

農業女子という
未来型ライフスタイル

第6期
(2018.11～)

山形大学

地域がはぐくむ
未来の農業女子PJ

第9期
(2021.11～)

南九州大学

Farm to Table
南九州大学農業女子PJ

東京農業大学

- 卒業生である農業女子メンバーが母校で講演
- 農業女子メンバーの農場でのインターンシップや、自治体・参画企業と連携した取組を実施



産業能率大学

- 農業インターンシップも体験しつつ経営学の観点から現場に寄り添ったマーケティングプランを考案



桜美林大学

- 農業女子メンバーのもとへ出向きインタビューを実施し、農業女子のワーク・ライフ・バランスの現状と課題を分析



東京家政大学

- 象印マホービンの「ごはん会議」に、お米を生産する農業女子メンバーとともに参加
- 学祭のカフェで農業女子メンバーとコラボ



蒲田女子高等学校

- 普通科の女子高校で、キャリア教育の一環として田植えや収穫後の米の加工、販売等に取組
- 就農した卒業生も存在



近畿大学

- 卒業生である農業女子メンバーが母校で講演
- 農業女子メンバーの農場でインターンシップを実施



山形大学

- 農業女子メンバーと学生によるワークショップ
- 農業女子プロジェクトメンバーによる講義
- 農業女子メンバーの農場でのインターンシップ



「農業女子プロジェクト」活動の拡大、発展

- 農業女子メンバーが地域グループを立ちあげ、積極的に活動を展開。
- 農業女子メンバーが香港でフェアを開催。国際会議でも活躍。
- 参画企業が連携したPR活動も実施。
- やりたいことの自主提案を推進（農業女子ラボ）

農業女子PJの地域版グループ

農業女子プロジェクトから派生した地域版グループ（スピンアウト）も全国に7グループ発足。
メンバーのアイデアや課題に共感する企業とのコラボ活動の実施が促進。



PRIDE

Women's farmers



農業女子自らが主体となって
全国の農業女子が繋がる
新たなグループを発足



農業女子が自ら企画し
香港フェアを実施



地域グループが開催した
農業機械セミナー

地域版グループ（スピンアウト）を含めて全国では様々な農業女子グループが活発に活動中です！

詳しくは特設ページで
ご紹介しています。



日本の女性農業者の取組を世界へ発信

【国連食糧農業機関（FAO）アジア・太平洋地域事務所「模範農業者賞」受賞】
大津愛梨さん（熊本県 農業女子PJメンバー）（2017年10月16日、タイ国）



【取組概要】

○2003年、夫と共に南阿蘇村で就農。無農薬米を栽培する傍ら、再生可能エネルギーの普及活動に取り組んでいます。また、「田舎のヒロインズ」の代表を務め、田舎のあり方や農業を営む女性の生き方を模索・提案しています。

○2016年に発生した熊本地震からの「創造的復興」を目指し、阿蘇の自然と地元食材を使った料理を楽しめる「レストランバス」をプロデュースするなど、被災地の復興に向けた活動にも取り組んでいます。

【国連女性の地位委員会（CSW）のサイドイベントで我が国の女性農業者の活躍を世界に発信】
結城こずえさん（山形県 農業女子PJメンバー）（2018年3月15日、国連本部（アメリカ））



【開催概要】

○日本の3NGOと国連代表部が開催したCSWサイドイベント「農山漁村地域の女性と少女のエンパワーメントに向けての活動」において、結城こずえさんがスピーカーとして登場しました。

○日本、ネパール、タンザニア、FAOより活動を紹介し、結城こずえさんからは、農業女子プロジェクトを通じて知り合った女性農業者のネットワークが加工や販路開拓など自身の経営の発展に繋がったことや、次世代のリーダー育成のための環境づくりにも取り組んでいくこと等を発表しました。

「農業女子プロジェクト」の情報発信



公式ホームページ



公式Facebook

プロジェクトの活動報告などを
農業女子メンバー、参画企業、
教育機関、事務局から随時発信



<http://nougyoujoshi.jp/>

農業女子プロジェクト WEB検索

プロジェクトの活動報告、
農業女子のコラムなどを
事務局から発信

<https://www.facebook.com/nougyoujoshi.project/>

農業女子プロジェクト Facebook検索



公式Instagram

日々の活動を
農業女子メンバー、教育機関、
事務局から随時発信

#nougyoujoshipj Instagram検索



令和3年度 内閣総理大臣賞



澤田 たみ子さん
(鹿児島県出水市)

非農家出身の澤田さんは、自ら研鑽して農業技術を習得し、県内の農業者に先駆けて、合鴨農法による水稲作や麦・大豆の有機農業経営を行っています。有機 JAS 認証を取得し、水稲作面積 13ha のうち 5ha が有機 JAS ほ場に認定されています。

また、学識経験者とともに有機農業の確立に向けた組織活動にも参画し、消費者とのつながりや農作業体験等を通じて、有機農業への理解促進に積極的に取り組んでいます。

女性農業経営士として、若い女性農業者に対する経営参画に向けた助言指導や地域農業振興に積極的に参加するとともに、農村女性として多様な組織に加入し、多数の役職を担いリーダーとして活躍しており、今後も様々なネットワークを活かし、自身の取組を普及することが期待されています。

令和3年度 日本農林漁業振興会会長賞



須藤 陽子さん
(千葉県館山市)

結婚を機に就農した須藤さんは、夫とともにフリーストール牛舎を建築し、飼養管理技術の向上に努め、飼養頭数規模を拡大してきました。

小学校講師時代に感じた「生き抜く力」を伝えたい、という思いから始めた命と食の大切さを伝える牧場ならではの酪農体験や、自社の高品質な牛乳に付加価値を付けたアイスクリーム、生シェイクの販売、カフェの展開等、経営の多角化を進めています。

また、女性も快適に作業できるよう環境整備に取り組むとともに、県指導農業士として、地域の女性農業者の育成にも尽力しています。

農業の多面的機能を活かし、生乳生産だけでなく、加工・販売や酪農体験など多角的事業を展開する須藤牧場の取り組みは、全国で活動する牧場経営のモデルとなっています。

男女共同参画センター等の 皆様へのお願い ！

女性農業者が、抱える様々な課題や悩みなどを、都道府県、市町村等が設置する近くの「男女共同参画センター」や「女性センター」等に気楽に相談できるよう御協力をお願いします！

(参考)

- ・ 第5次男女共同参画基本計画 抜粋
- ・ 食料・農業・農村基本計画 抜粋

第2部 政策編

I あらゆる分野における女性の参画拡大

第3分野 地域における男女共同参画の推進

2 農林水産業における男女共同参画の推進

(1) 施策の基本的方向

- 国民生活に必要な食料を供給する機能とともに国土保全等の多面的機能を有する農林水産業を支え、また、発展させていく上で、女性は重要な役割を果たしている。しかしながら、農林水産業の就業者数が減少し続ける中で、例えば、基幹的農業従事者に占める女性の割合は低下傾向にある。都市部への女性の流出が続き、農山漁村への還流・流入は少ない。
- 農林水産業の発展、農山漁村への人材の呼び込みのためには、女性が働きやすく暮らしやすい農山漁村にすることが重要であり、女性が地域の方針策定に参画し、女性の声を反映させていくことが必要である。
- 「田園回帰」の動きが見られる中で、移住や定住、地域おこし協力隊などで農林水産業や農山漁村との関わりを志向する都市部の女性が増えている。例えば農業においては、親元就農や結婚とともに就農するだけでなく雇用就農や新規参入もみられるなど、女性の農林水産業への関わり方は多様化しており、それぞれの形態に応じたきめ細かな支援が必要である。
- このため、「食料・農業・農村基本計画」等に基づき、女性の経営への参画を推進するとともに、地域をリードする女性農林水産業者を育成し、農山漁村に関する方針策定への女性の参画を推進する。また、女性が働きやすい環境の整備や育児・介護等の負担の軽減、固定的な性別役割分担意識とこうした意識に基づく行動の変革に向けた取組を推進する。

第5次男女共同参画基本計画（2020.12 閣議決定）抜粋

（2）具体的な取組

ア 農林水産業における政策・方針決定過程への女性参画の推進

- ① 地域をリードできる女性農林水産業者を育成し、農業委員や農業協同組合、森林組合、漁業協同組合の役員及び土地改良区等の理事に占める女性の割合の向上や女性登用ゼロからの脱却に向けた取組などを一層推進する。また、改正された女性活躍推進法に基づき、一般事業主行動計画の策定義務等の対象が拡大する機を捉え、女性活躍推進法の適用がある事業主については、同法に基づく事業主行動計画の策定等の仕組みを活用し、女性の活躍推進に向けた取組を推進するよう要請する。また、地方公共団体、農林水産団体等に対して、具体的な目標の設定や女性の参画を促進する仕組みづくりを働きかける。
【内閣府、厚生労働省、農林水産省】
- ② 地域の農業を牽引するリーダーとなり得る女性農業経営者を育成するため、実践型研修を実施する。
【農林水産省】
- ③ 女性が役員の過半を占める農業法人等が事業を実施する場合に貸付限度額を引き上げる特例措置を設けた融資を活用して、役員等への女性登用を促進する。【農林水産省】
- ④ 女性農業委員のネットワーク組織の活発な活動などに関する好事例を展開するとともに、その取組や経験を継承していくための世代間交流を促進する。【農林水産省】
- ⑤ 地域レベルの女性グループの形成やその取組を支援するとともに、全国の女性グループ間ネットワークを構築する。【農林水産省】
- ⑥ 人・農地プランの実質化（農業者の年齢階層別の就農や後継者の確保の状況を「見える化」した地図を用いて、地域を支える農業者が話し合い、当該地域の将来の農地利用を担う経営体の在り方を決めていく取組）における女性農業者の参画を推進する。【農林水産省】
- ⑦ 女性の林業経営への参画等により、地域全体における林業を活性化するため、施業意欲を高める研修や情報提供等を実施するとともに、女性林業グループの取組を支援し、優良な取組の全国各地への普及を図る。【農林水産省】
- ⑧ 水産業における女性の参画を推進するとともに、水産業経営の改善を図るため、起業的取組を行う女性グループの取組、女性の経営能力の向上や女性が中心となって取り組む加工品の開発、販売等の実践的な取組を支援し、優良な取組の全国各地への普及を図る。【農林水産省】

第5次男女共同参画基本計画（2020.12 閣議決定）抜粋

イ 女性が能力を發揮できる環境整備

- ① 認定農業者の経営改善計画申請の際の共同申請や補助事業等の活用を推進する。【農林水産省】
- ② 「農業女子プロジェクト」や「海の宝！水産女子の元気プロジェクト」における企業や教育機関との連携強化、地域活動の推進により女性農林水産業者が活動しやすい環境を作る。【農林水産省】
- ③ 家族経営協定の締結による就業条件の整備を推進する。また、家族経営協定を締結した女性農業者に対する融資の活用を促進する。【農林水産省】
- ④ 女性の活躍推進に取り組む優良経営体（WAP：Women's Active Participation in Agriculture）の普及を推進する。【農林水産省】
- ⑤ 女性グループが行う漁業生産活動に対する融資の活用を推進することにより、女性が行う水産業に関連する経営や起業等を支援する。【農林水産省】
- ⑥ 女性の就農希望者等に対し、就農相談会、農業法人による会社説明会、就農促進PR活動、農業者による農業高校への出前授業等を通じて、農業への理解を促進し、円滑な就農を支援する。【農林水産省】
- ⑦ 女性農業者の農業者年金への加入を促進する。【農林水産省】
- ⑧ 労働時間の管理、休日・休憩の確保、男女別トイレの整備、キャリアパスの提示やコミュニケーションの充実など、女性が働きやすい環境づくりを推進する。【農林水産省】
- ⑨ 女性農業者の子育てと仕事の両立を地域で一体的にサポートするネットワークの構築を支援する。【農林水産省】
- ⑩ 女性の発想から農山漁村の魅力の掘り起こし・磨き上げ・発信を促進し、また、農山漁村のポテンシャルを引き出して地域の活性化や所得向上に取り組む優良事例を選定し、全国へ発信する。

【成果目標】(2025年度)

農業委員に占める女性の割合	20%(早期), 更に30%を目指す	土地改良区(土地改良区連合を含む。)の理事に占める女性の割合	10%
農業協同組合の役員に占める女性の割合	10%(早期), 更に15%を目指す	認定農業者数に占める女性の割合	5.5%
		家族経営協定の締結数	70,000件

食料・農業・農村基本計画（2020.3閣議決定）抜粋

【第3 食料、農業及び農村に関し総合的かつ計画的に講ずべき施策】

2. 農業の持続的な発展に関する施策

（1）力強く持続可能な農業構造の実現に向けた担い手の育成・確保 ②経営継承や新規就農、人材の育成・確保等

エ 女性が能力を発揮できる環境整備

農業や地域に人材を呼び込み、また、農業を発展させていく上で、農業経営における女性参画は重要な役割を果たしているため、認定農業者の経営改善計画申請の際の共同申請や補助事業等の活用を推進する。また、地域農業に関する方針策定への女性参画を推進するため、地域をリードできる女性農業者を育成し、農業委員や農協役員への女性登用などを一層推進するとともに、全国の女性グループ間ネットワークを構築する。さらに、「農業女子プロジェクト」における企業や教育機関との連携強化、地域活動の推進により女性農業者が活動しやすい環境を作る。またこれらの活動を発信し、若い女性新規就農者の増加につなげる。

（2）農業現場を支える多様な人材や主体の活躍 ③多様な人材が活躍できる農業の「働き方改革」の推進

（前略）農業の現場に必要な人材を確保していくためには、他産業と遜色ない働きやすい環境を整え、就職氷河期世代を含む若者、女性、他産業を退職した人材、高齢者、障害者、生活困窮者等、多様な人材を確保し、それぞれが持つ知見、経験、能力などの強みを活かしつつ、農業経営体や地域を支える取組の推進が必要である。このため、（中略）家族経営協定の締結による就業条件の整備、農福連携の推進など、誰もがやりがいがあり、働きやすい環境づくりを推進する。

（3）担い手等への農地集積・集約化と農地の確保 ①担い手への農地集積・集約化の加速化

ア 人・農地プランの実質化の推進

担い手への農地の集積・集約化に当たっては、（中略）人・農地プランの実質化を推進する。また、地域における話し合いへの女性農業者の参画を促進する。

3. 農村の振興に関する施策

（3）農村を支える新たな動きや活力の創出 ③ 多面的機能に関する国民の理解の促進等

農業の多面的機能に関する国民の理解の促進を図るため、（中略）地域の若者や女性の発想、農業以外の分野からの新たな視点により、農村の魅力の掘り起こし・磨き上げ・発信を促進し、（中略）国民への理解の促進・普及等を図る（後略）。



わたしたち農林水産省は、
いのち
生命を支える「食」と安心して暮らせる「環境」を
未来の子どもたちに継承していくことを使命として、
常に国民の期待を正面から受けとめ
時代の変化を見通して政策を提案し、
その実現に向けて全力で行動します。

農林水産省
ご清聴ありがとうございました

